応援アワード2022

応援エピソード部門　エントリー

＜ヒカリのチカラ！＞

- I will be back !!
  二年前、自分達はこの言葉を胸に秘め、立ち上がった。
  COVID-19 それは今まで聞いた事もない病名、
  世界中に蔓延し、ロックダウンが始まった。
  自分達の職業はコンサートスタッフ、ポジションは照明
  エンターテイメント業界が動きを止め、仕事が次々にキャンセルになり
  仕事も減り、何も出来ない時間が続いていたが
  ある日、zoom 飲み会でアイディアが生まれた！
  その名は、Japan #31 Project

- エンターテイメントは、今は不要と言われ活動が止まって数週間
  皆　誰もが、ちょっと良い機会だ　ゆっくり休もう、1、2週間で収まるさ
  そんな風に思ってた頃、だんだん雲行きが怪しくなっていく
  あれ？もしかして…数ヶ月このままなのかも….
  ある日、流行り始めた zoom 飲み会を自分達でもやってみようと思い
  皆に声をかけ、SNS でも呼びかけた。
  仕事柄、全国ツアーで各地に滞在する事もあり、全国各地にいる照明さんとは
  いつも仕事をしている仲間で顔馴染みだ。

この日の zoom 飲み会の話題は、ドイツのスタッフ行っている Night of Light
ドイツ国内各地のモニュメント、劇場、各地のシンボルを真っ赤に染め
エンターテイメントが停止し、自分達の業界も生活も赤信号だと意思表示を表し
ドイツ国内へ警鐘を促したものだった。

この形なら自分達のスキルが役に立つ！何か出来るかも！
何も出来ない日々が続くより、自分達で活動の場を作り業界を盛り上げよう！
皆で知恵を出し合うが、ライトアップは既に、あの日はこの色、この日はあの色と
すでに各テーマカラーが決まっている
あまり目にしないカラーで、その色の持つ意味がマッチするか皆で考えた。
そんな中一人がつぶやく。
この業界はオレンジ色の事をアンバーって言うよね。
アンバーって言えば、やっぱり舞台のフィルター番号で＃31 じゃない？
その一言で一気に弾みがつく！
日本全国、自分達のネットワークで各地を＃31で染めて
アンバーの持つ色の意味、「暖かい」「豊潤」「穏やか」をテーマに
＃31で染め上げたモニュメントを見て、道ゆく人がひと時でも
心安らぐ気持ちになってもらいたい。
そして皆で立ち上がり、エンターテイメントを盛り上げ、自分達の存在も知ってもらおう
その活動が沈みかけた皆の気持ちを奮い立たせる応援！
Japan#31Project である。

やると決めたら行動が早い。
翌週には配信番組を企画し、全国のライトアップ箇所を中継で結び生配信が決まる。
その頃、自分は知人の配信番組に参加し、クミッチェルの存在を知り
自分達の活動に弾みをつけ、一緒に熱い思いを伝えるには、この人しか居ない！
活動する自分達を応援してくれて、尚且つ配信番組に花を添えてくれて
見ている視聴者や視聴している同業者にエールを送ってくれる。一石何鳥だ？
このタイミングの巡り合わせは奇跡的だと思い、事務局にアポを取った。

自分達の活動を知ったクミッチェルに快く賛同して頂き初回の配信が決定した。
スタートに漕ぎ着けるまで、苦労の連続で慣れない場所の交渉
ボランティアで労力の提供、機材の設置を行い、普段は裏方で表に立つことは無い
スタッフが画面の前に出る緊張感。1回目の配信で反省点は有るものの多少のトラブル
はクミッチェルのアドリブで回避。心強い仲間だ。
心地よい疲労感、この仕事でしか味わえない満足感を得て次回へ繋いでいく。

だかしかし自分達も甘えてばかりでは、いられない。
クミッチェルこと朝妻久美の活動を周知に勤しむ。
それが自分達に今出来る応援返しだ。

第一回、二回と回を重ね、計6回、3ヶ月のライトアップ活動を行い
ライトアップ箇所は全国各地、北は日本最北端から最西端まで
計200箇所を照らし、動画再生回数は6万回を超え
テレビ、新聞とメディアにも活動を取り上げて頂き
自分達の存在意義と活動を周知する目標も達成出来ました。

コロナの規制緩和で活動が戻った今、
あの時、皆で立ち上がって良かったと活動に自信を持ち
改めて応援の意味そして意義を再確認できました。

この春から、また再びコンサートで日々、色々な曲で照明で情景を作り
来場されたお客さんが笑顔、そして涙し
今日のライブ良かったよ！、元気が出た！ありがとう！お疲れ様と
客席後方の仕事場で声をかけて頂き、エールをもらいます。

そんな明日への活力になり、自分達のヒカリのチカラが役に立ち
一歩踏み出す背中を押せる応援になっていれば満足です。
さぁ今日も！希望の光を明日へと照らせ！！